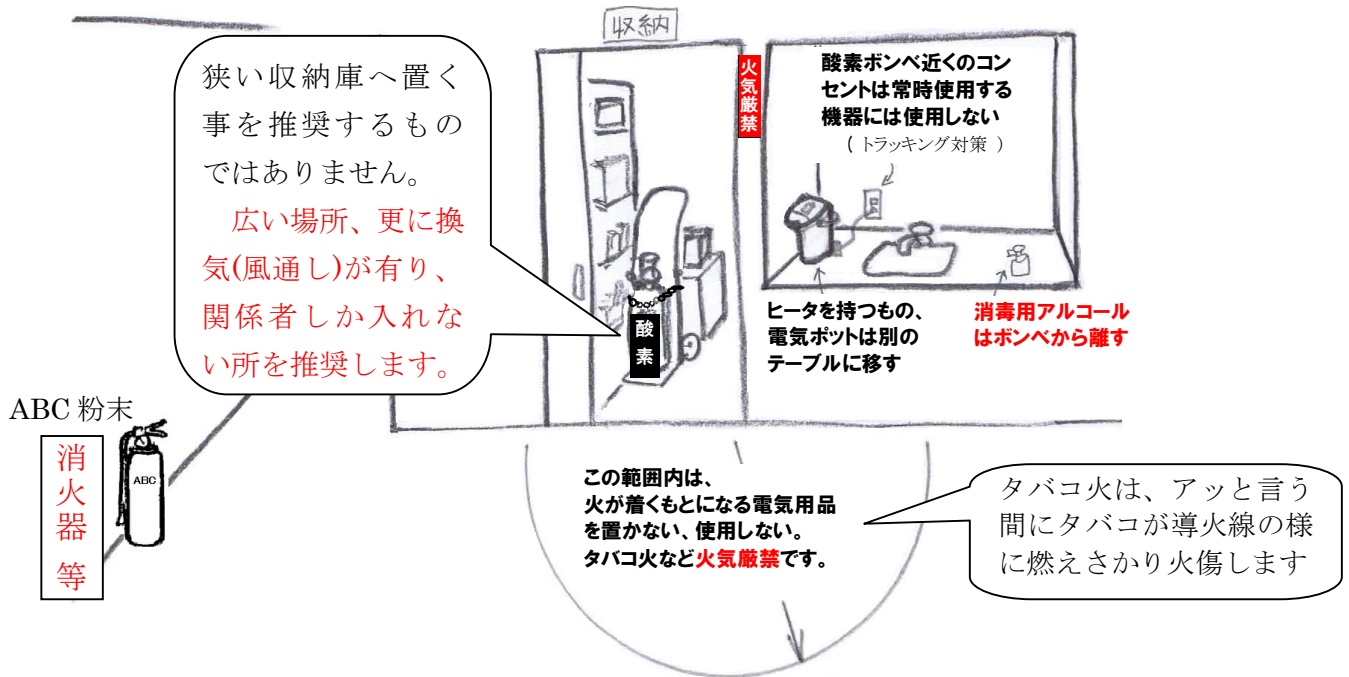


施設(特養老人ホーム)の酸素洩れリスク対応

片山安心コンサルタント
電話 0763-58-5258
メール: shousa@ansin39.com

医療用酸素ボンベの保管で考えられる事故に
現状の中で予め対応する事で、災害への波及リスクを減らす事が出来ます。
以下にまとめましたので、施設で働く皆さんの配慮をお願いします。



酸素ボンベの仮置き場(狭い空間)とその周辺

1) 周囲2mは火気厳禁です (酸素洩れ事故発生による災害防止)

(少量の酸素使用は、部屋単位で火気を使わない様にして下さい)

- ・ストーブ、ガスコンロ、電熱器具、タバコ火、他の火気を近づけない。

溜った時のリスク回避 高濃度酸素が漏れて 納戸を締められた庫内に	<p>酸素だけでは燃えませんが、火を着き易くして、火力を強くするものです。</p> <ul style="list-style-type: none">・電気用品に火を着ける元になるヒータ(電気ポット、他)を近くに置いて使用しない。・また、常時使用する家電機器の電源には、ボンベから離れたコンセントを使用する。・ボンベから酸素が漏れている時には、近辺の機器は操作しない。
--	---

2) 緊急用の酸素ボンベ置き場には、圧力調整器部分が壊れない様に上から落ちる、四方からぶつかる物を無くすことです

- ・何でも入れてある納戸にはボンベを入れない。
- ・ボンベを置く庫内には、一緒に入れる物を少なくする。

3) 酸素ボンベ保管場所 及び その周辺に可燃性の物を置かないことです。

消毒用アルコールは離して置く。

以上